

令和元年度

決算のあらまし

去る6月29日に開催された第189回組合会において、当組合の令和元年度の決算が承認されましたので、その概要をお知らせします。

総括事項

前年度に比べ、組合員は91人増加しましたが、任意継続組合員は32人、被扶養者は498人それぞれ減少しました。

組合員数・被扶養者数

区分	平成30年度	令和元年度	比較増▲減
一般組合員	21,250人	21,319人	69人
市町村長組合員	41人	40人	▲1人
市町村長長期組合員	3人	4人	1人
特定消防組合員	4,081人	4,103人	22人
長期組合員	1人	1人	0人
計	25,376人	25,467人	91人
任意継続組合員	483人	451人	▲32人
被扶養者	23,518人	23,020人	▲498人

組合を構成する市町村等の数

区分	平成30年度	令和元年度	比較増▲減
市	32	32	0
町	10	10	0
村	2	2	0
一部事務組合等	39	39	0
計	83	83	0

平均標準報酬月額

長期	380,688円
短期	381,422円

業務経理

地方公共団体負担金、短期経理からの繰入金および全国市町村職員共済組合連合会(以下「市町村連合会」といいます。)からの交付金を財源に、人件費および事務費、その他共済組合の運営に要する諸費用を賄う経理です。

令和元年度の組合員1人当たりの事務費は年額11,748円で、経費削減に取り組んだ結果、約2千万円の当期利益金が生じました。

(単位:千円)

収入	496,023
支出	475,243
差引	20,780



短期経理

組合員やご家族の皆さんの病気やケガによる医療費の支払い、出産、死亡、その他災害が生じた場合などに行う給付、高齢者医療に係る各種拠出金の納付のほか、介護保険料の収納を行う経理です。

収支の結果、短期経理分は約5千万円の当期利益金、介護保険分は約5千万円の当期損失金が生じました。

短期経理分

(単位：千円)

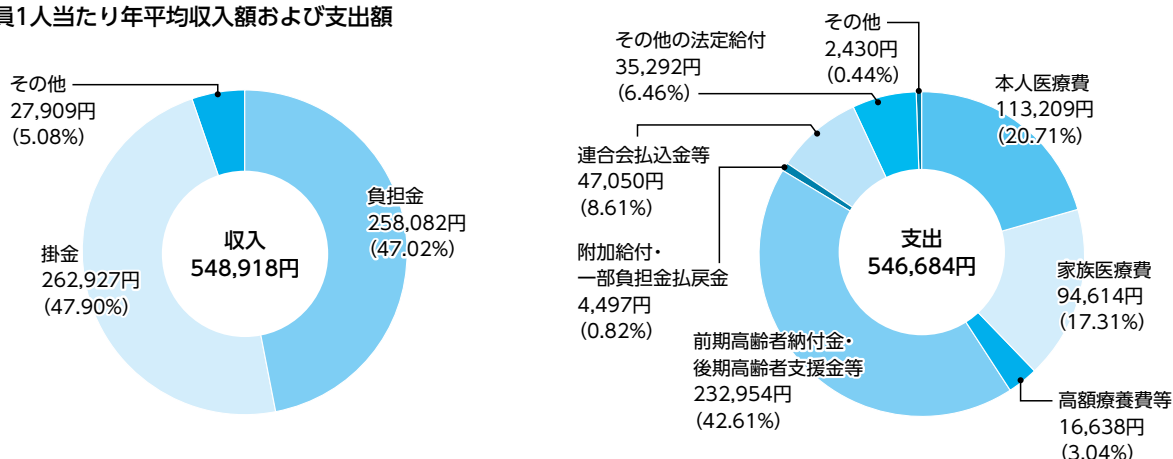
収入	15,306,835
支出	15,259,813
差引	47,022

介護保険分

(単位：千円)

収入	1,497,558
支出	1,544,312
差引	▲46,754

●組合員1人当たり年平均収入額および支出額



(注) 1. 算定基礎となる組合員数は、平成31年4月から令和2年3月までの組合員(任意継続組合員を含む。)数の合計の平均。
2. 介護納付金の納付に要する費用に係る収入・支出を除きます。

厚生年金保険経理

組合員の皆さんの保険料および地方公共団体の負担金をお預かりして、市町村連合会へ払い込むための経理です。

(単位：千円)

収入	35,746,696
支出	35,746,696
差引	0

退職等年金経理

「退職等年金給付」の財源として、組合員の皆さんの掛金および地方公共団体の負担金をお預かりして、市町村連合会へ払い込むための経理です。

(単位：千円)

収入	2,287,504
支出	2,287,504
差引	0

経過的長期経理

被用者年金一元化前に決定した公務等の障害・遺族年金に要する費用の財源として、地方公共団体の負担金をお預かりして、市町村連合会へ払い込むための経理です。

(単位：千円)

収入	155,838
支出	155,838
差引	0

退職等年金預託金管理経理

市町村連合会が保有する退職等年金給付組合積立金の一部を、当組合が資金預託を受け管理・運用するための経理です。貸付経理および物資経理への資金の貸付を行っています。

(単位:千円)

収入	29,034
支出	29,034
差引	0

経過的長期預託金管理経理

市町村連合会が保有する経過的長期給付組合積立金の一部を、当組合が資金預託を受け管理・運用するための経理です。地方公共団体より引き受ける縁故地方債で運用しています。

(単位:千円)

収入	8,836
支出	8,836
差引	0

保健経理

医療費増嵩対策の一環として、組合員とご家族の皆さんの健康保持増進を図るため、各種検診をはじめとする福利厚生事業を行う経理です。

収支の結果、約5千万円の当期利益金が生じました。

(単位:千円)

収入	691,115
支出	637,270
差引	53,845

宿泊経理

保養所「大洗鷗松亭」を運営するための経理です。

収支の結果、約5千万円の当期損失金が生じました。

今後もより一層サービスの向上に努めてまいりますので、皆様のご利用を心よりお待ちしております。

(単位:千円)

収入	455,576
支出	508,687
差引	▲53,111

貯金経理

共済貯金に加入されている組合員の皆さんからお預かりした資金を安全かつ効率的に運用し、市中金利よりも有利な利率で還元することにより、健全な財産形成を図ることを目的とした事業を行う経理です。

収支の結果、約3千万円の当期利益金が生じました。

令和元年度末の貯金残高は、前年度と比べ約35億円増加し約1,239億円となりました。

(単位:千円)

収入	2,102,827
支出	2,071,082
差引	31,745

貸付経理

組合員の皆さんの住宅資金など生活に関連した資金の貸付を行う経理です。

収支の結果、約7百万円の当期利益金が生じました。

令和元年度末の貸付金残高は、前年度と比べ約6億円減少し約54億円となりました。

(単位:千円)

収入	69,963
支出	62,508
差引	7,455

物資経理

組合員の皆さんが自動車を購入するときに、資金の一時立替えを行う経理です。

収支の結果、約6百万円の当期利益金が生じました。

令和元年度末の物資立替金残高は、前年度と比べ約7千万円増加し約14億1千万円となりました。

(単位:千円)

収入	25,761
支出	19,861
差引	5,900

財形経理

国が作成する「地方公務員等の財産形成事業に係る基本計画」に基づく市町村連合会からの借入金を財源として、勤労者財産形成貯蓄をしている組合員の皆さんに住宅資金を低利で貸し付けする経理です。

(単位:千円)

収入	220
支出	220
差引	0

共済貯金の運用状況

令和元年度の決算をもとに、貯金経理の貸借対照表と資産構成割合を掲載します。

運用の多くは国債などの有価証券が占め、高い支払利率(年利1.68%、令和2年9月からは年利1.44%)が設定できる要因となっています。

皆さんからお預かりした大切な資金であることを踏まえ、今後も安全性を最優先に効率的な運用を行っていきます。

令和元年度決算 貸借対照表

(単位:百万円)

借方	金額	構成割合	貸方	金額	構成割合
普通預金	3,333	2.33%	組合員貯金	123,915	86.80%
定期預金	7,800	5.46%	流動負債	381	0.27%
有価証券	131,317	91.99%	固定負債	43	0.03%
その他	308	0.22%	剰余金	18,419	12.90%
計	142,758	100.00%	計	142,758	100.00%

※剰余金には、将来の欠損金の補てんに充てるための法定積立額を含んでいます。

有価証券の内容

(単位:百万円)

種類	金額	構成割合
国債	43,611	33.21%
地方債	8,655	6.59%
政府保証債	7,091	5.40%
公社公団債	52,767	40.18%
一般事業債	7,496	5.71%
社債	6,197	4.72%
円貨建外国債	5,500	4.19%
計	131,317	100.00%

※円貨建外国債については、格付機関からAAAの格付を取得している国際機関、外国政府または政府保証債にあたる外国法人が発行するものを保有しています。

●令和元年度の共済貯金は、支払利率を年1.68%で運営しました。

一方、資産^{*1}の平均運用利回りは年1.50%(平成30年度は年1.54%)となり、有価証券^{*2}のみで見ると年1.70%(平成30年度は年1.82%)という運用結果となりました。

*1 貸借対照表の借方、普通預金からその他までの合計額

*2 上記のうち「有価証券」の額